

お知らせ

自動運転バスを利用した公道上でのデータ取得を行います

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構では、安全な自動運転の実現と、社会が安心してそれを使うために何が必要かを明らかにするため、柏の葉地区を走行する自動運転バスを利用した研究を行っています。今回、この自動運転バスを利用した公道上でのデータ取得を行いますので、下記の通りお知らせいたします。

1. 実施内容・期間

つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅と東京大学柏キャンパスの間を走行している自動運転バス（写真）に搭載されている、ビデオカメラ、光学センサ（LiDAR）やミリ波レーダなど用いて、バス周辺の車、二輪車、歩行者の挙動を撮影、計測、分析を行います。



写真：自動運転バス

実施期間：2021年5月17日（月） ～ 2022年3月31日（予定）

2. 個人情報の保護

撮影するカメラや記録装置には、運送事業者でも用いられている、市販の製品を用います。必要以上に遠方を撮影することが無いように配慮します。撮影された映像は限られた研究従事者のみ確認できるようにします。光学センサやミリ波レーダは映像ではなく、物体の位置を数値データとして取得します。これらのデータから直ちに個人を特定することはできません。

3. 研究成果の公表

研究の成果は、氏名など個人が特定できないようにした上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表します。録画した映像について公表する場合は、映像にマスクをして個人を特定できないように加工します。

4. 本研究がもたらす利益と不利益

自動運転による移動サービスの実現は、我々の社会が抱える移動にまつわる問題を解決すると期待されており、今回の取り組みは、今後、自動運転を社会へ導入する際に重要な知見をもたらすと期待しています。一方、この研究は公道上でデータを取得するため、バス利用者や周辺の車、二輪車、歩行者を映像で撮影します。本研究では、プライバシーおよび個人情報の保護について十分に配慮し、不利益が生じることの無いように実施します。

5. 資料・情報の取扱方針

今回得られた映像や数値データは個人を識別できないようにした上で、研究や分析等に用います。今回の実験で取得した貴重な映像や計測データは、新たな研究のために当機関で用いたり国内外の機関に提供したりする場合があります。現時点では、将来の研究目的を知ることができませんが、東京大学倫理審査専門委員会の承認を受けた上で、個人を識別できないよう加工し、利用や提供を行います。

6. その他

この研究は、東京大学倫理審査専門委員会において審査し、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構長の承認を受けて実施するものです。ご意見、ご質問などがございましたら、お気軽に下記までお寄せください。

本研究は JST の助成により実施している JST-RISTEX「ELSI を踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築」一環として行います。

お問い合わせ先

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構(UTmobI) 事務局

〒277-8574 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

電子メール：utmobi-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp